



施策・事務事業マネジメントシート【令和6年度】

1 施策の基本情報

施策名		21 地域ゆかりの文化の保存と継承
目的	対象	市民, 文化遺産
	意図	文化遺産や伝統を次世代に伝え、郷土への愛着をはぐくむ 文化遺産を保存し、学習素材やまちづくりに活用する
施策の方向		地域ゆかりの文化資源や歴史・文化遺産を保存・活用することにより、次の世代に継承し、ふるさと調布に対する愛着を育みます。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察

・郷土博物館の文化財保護事業においては、文化財保護法の一部を改正する法律（平成31年4月施行）の趣旨を踏まえ、文化財を守るだけでなく今まで以上に活用する視点から、基本計画及び教育プランに基づき、本施策・事務事業を推進する。博物館事業においては、博物館法の一部を改正する法律（令和5年4月施行）の趣旨を踏まえ、より一層の質の向上を図りながら博物館に親しむ文化を形成していくため、基本計画及び教育プランに基づき、本施策・事務事業を推進する。

・図書館では、引き続き地域ゆかりの資料を収集・保存し、各種テーマの展示等で活用する。

・武者小路実篤記念館では、魅力ある展示・普及事業を実施するとともに、実篤や収蔵資料に関するデジタルアーカイブの充実を図り、広く時代のニーズに合わせた情報を提供し、事業全般に活用する。これら事業を通して、地域教育・文化の向上へ貢献するとともに、全国へ特色ある事業の魅力を発信する。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
文化遺産の数（国・東京都・市指定等文化財）	件	78 令和3年度	81	84 令和8年度	○	・着実に文化財の指定・登録を進め、前年度（80件）から1件の増加となった。貴重な文化遺産を次世代に引き継ぐため、今後も取組を継続する。
郷土博物館・実篤記念館の入館者数・事業参加者数（実篤公園利用者を含む）	人	4万1,014 令和3年度	5万1,985	5万5,000 令和8年度	▼	・前年度（54,233人）から減少した。実篤記念館の移動展が偶数年度のみ開催であることや、森の地図スタンプラリーの参加者数の減少があったため。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■21-1 文化財の保存及び活用

No	基本計画事業名	R5取組実績	R5取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
68	国史跡下布田遺跡整備事業の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	・国史跡下布田遺跡整備に係る実施設計 ・市民ワークショップを9回開催 ・地元小学校との学校教育連携事業を実施	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・国庫補助事業として段階的に史跡及びガイダンス施設の整備工事を推進 ・史跡の保全と活用の「担い手づくり（ボランティアの育成）」の取組を推進 ・史跡を活用した学校連携事業の継続、展開 ・調布市土地開発公社からの史跡用地（史跡内旧生産緑地）の買戻し

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
① 調布市文化財保護審議会の調査審議に基づく文化財の指定・登録、郷土芸能の保存・継承 ② 東京文化財ウィークへの参画による文化財の公開機会の拡大、講演会等の実施 ③ 国登録有形文化財真木家住宅の保存・活用	① 文化財の指定・登録、郷土芸能の保存・継承を継続 ② 文化財を守るだけでなく今まで以上に活用していく視点から各種事業を展開 ③ 国登録有形文化財真木家住宅の活用に向けた現状把握や保存の取組を継続

■21-2 地域ゆかりの歴史・文化を生かした事業の展開

No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
69	郷土の歴史・文化を核とした博物館事業の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	<ul style="list-style-type: none"> 郷土博物館では、展示活動や講演会、収蔵資料データベースの整備・公開、公式YouTubeチャンネルやSNSを活用した情報発信、学校教育の学習内容に即した展示や出前授業、失われるおそれのある郷土の歴史・文化の記録作成などを実施 博物館法の一部を改正する法律（令和5年4月施行）の趣旨を踏まえ、今後の郷土博物館の在り方や方向に関する論点を整理 	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<ul style="list-style-type: none"> 郷土博物館では、博物館法の一部を改正する法律（令和5年4月施行）の趣旨を踏まえ、収集、保管、調査・研究、展示・普及を軸とした基本機能を発揮し、より一層の質の向上を図りながら、博物館に親しむ文化を形成していく。 「文化観光」の視点から、水車を活用した体験活動、展示内容の変更等により、深大寺水車館のより一層の魅力向上を図る。 今後の郷土博物館の機能、役割その他の課題整理を行う。資料の収集方針や資料台帳の整備などを進める。
No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
70	武者小路実篤を核とした特色ある事業の展開	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	<ul style="list-style-type: none"> 特別展（春，秋各1回）、企画展（年4回）を開催 ボランティア養成講座の開催 授業に利用できる動画4本の公開 情報提供システム（映像視聴システム、収蔵品データベース、ホームページ、情報閲覧システムの総称）のリニューアルの検討 武者小路実篤記念館の収蔵庫の燻蒸、照明設備、排水ポンプ設備等の改修工事等の実施 旧実篤邸の修繕の実施協力 	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供システムのリニューアルを推進する。（デジタル情報の公開、事業全般への活用、広報事業の充実） 展示活動（特別展、企画展、移動展など）を継続する。 博学連携事業における新たな教材の開発と場の提供、出張展示を実施する。 開館40周年（令和7年度）に向けた展示、普及事業の企画、実施する。 武者小路実篤記念館の経年劣化した施設・設備の改修を行う。 旧実篤邸の現状調査の実施、今後の保存・管理に関する検討を行う。

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
① 図書館では、「水木しげる氏関連資料」の展示、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2024」における展示会「出張！映画資料室－東京現像所という仕事－」を実施 ② 武者小路実篤記念館では、博物館法の一部を改正する法律（令和5年4月施行）の趣旨を踏まえ、登録博物館になるための課題を整理	① 図書館では、引き続き地域ゆかりの資料を収集・保存し、各種テーマの展示等で活用する。 ② 武者小路実篤記念館では、登録博物館になるための必要要件の整備と、登録手続を進める。

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和5年度取組実績及び令和6年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
21-1 文化財の保存及び活用 ・ SNSを活用したイベント情報等の発信（文化財保護事業18回）の継続 21-2 地域ゆかりの歴史・文化を生かした事業の展開（郷土博物館） ・ 収蔵資料データベースの整備・公開の継続 ・ 公式YouTubeを活用したコンテンツの発信（「調布今昔写真館」シリーズなど）の継続 ・ SNSを活用した収蔵資料や事業の発信（博物館事業76回）の継続（武者小路実篤記念館） ・ 情報提供システムのリニューアルの検討【令和5年度】 ・ 収蔵品データベースのリニューアル作業の開始【令和6年度】 ・ 国文学研究資料館の近代文学者草稿デジタル化プロジェクトへの参画（所蔵原稿のうち177点（3,838枚）をデジタル化）【令和5年度】 ・ 国文学研究資料館による「国書データベース」でのデータ公開【令和6年4月】 ・ 実篤記念館収蔵品データベースとのリンク作業及び残り原稿のデジタル化の推進【令和6年4月以降】	21-1 文化財の保存及び活用 ・ 多様な主体との連携による国史跡下布田遺跡を活用した地域の活力の向上 21-2 地域ゆかりの歴史・文化を生かした事業の展開（武者小路実篤記念館） ・ 地域の事業者との連携によるスタンプラリーの実施。地域への来訪者の回遊性の促進【令和5年度】 ・ 市内2学童クラブとの実篤記念館利用プロジェクトの実施（年3回）、身近な文化施設での体験機会の提供及び次代を担う子どもたちへのアプローチ・利用拡大【令和5年度】 ・ 学童クラブの連携先を増やしていく【令和6年度以降】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
21-1 文化財の保存及び活用 ・ 国史跡下布田遺跡におけるヤギ除草の試行実施を継続 21-2 地域ゆかりの歴史・文化を生かした事業の展開（武者小路実篤記念館） ・ 休憩コーナーの温度上昇を抑えるため、ボランティア活動の一貫として、ゴーヤカーテンの設置を継続	21-1 文化財の保存及び活用 ・ 非常時の電源として活用可能な電気自動車の導入検討（下布田への配置検討） ・ フェーズフリーの視点も踏まえた史跡整備事業の推進、開園後の事業の検討 21-2 地域ゆかりの歴史・文化を生かした事業の展開（武者小路実篤記念館） ・ フェーズフリーの視点も踏まえた施設管理と収蔵品の保存方法の検討 ・ 収蔵資料のデジタルアーカイブ化の推進